

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	いきるちから4		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2025年 2月 15日		2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	チームワークが優れており、目標の共有ができていて、子どもたちの支援に集中して取り組んでいる。子どもたちにとって過ごしやすい雰囲気・環境を提供することができる。	勤務時間の違う職員とも連携がスムーズに行えるよう、朝礼と昼礼を行っている。日ごろから積極的にコミュニケーションを取ることで意見の言いやすい雰囲気作りができています。	公休日に共有された情報の取りこぼしが無いよう、意識していきたい。
2	様々な職種の職員が勤務しており、いろんな角度からのアプローチができ、子どもたちの成長に繋げる事ができる。	保育園・病院・学童・他福祉施設・子育て経験等、それぞれが持っている経験をもとに意見を言いやすい環境を整えている。	今獲得している経験・知識だけでなく、職員が更に成長していけるように内部・外部研修等に参加し今後の支援に活かしていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の環境(広さや防音設備)が十分でなく、活動に一定の制限ができてしまう。	4階建てビルの3階で隣接施設への騒音等の影響も考えると、事業所内だけで子供たちに発散の場を十分に提供することが難しい。	天候等に配慮しながら、公園や河川敷へ出かけて活動する機会を設ける。室内では騒音防止対策を行い、リトミックやサーキットを行い運動できる活動も取り入れる。
2	地域との交流が少ない。	地域のお祭りに参加する等の単発の関わりはあるが、その後継続した交流が持てていない。	子どもたちと地域を繋ぐ活動に多く参加できるよう、情報収集を行う。
3			